

株式会社ラヤマパック 環境経営レポート

2023 年度

(対象期間 2022 年 10 月～2023 年 9 月)



目 次

1. 組織の概要	1 頁
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2 頁
3. 環境経営方針	3 頁
4. 環境経営目標	4 頁
5. 環境経営計画	5 頁
6. 環境経営目標の実績	6 頁
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7 頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	8 頁
9. 代表者による全体評価と見直し指示	8 頁

2024 年 3 月 1 日発行

1. 組織の概要

1. 1 事業所名及び代表者名

株式会社ラヤマパック

代表取締役社長 羅山能弘

1. 2 事業所の所在地（登録認証範囲）

本社：東京都葛飾区東立石1-7-5

具現化工場：東京都葛飾区東立石1-17-28（段階的認証2019年度取組み済）

1. 3 環境管理責任者氏名

環境管理責任者：三浦 満

連絡先 TEL：03-3695-6011 FAX：03-3695-6014

e-mail：miura@rayama.co.jp ホームページ：<http://www.rayama.co.jp>

1. 4 事業活動の概要

プラスチック製パッケージ及び容器製造

1. 5 事業規模

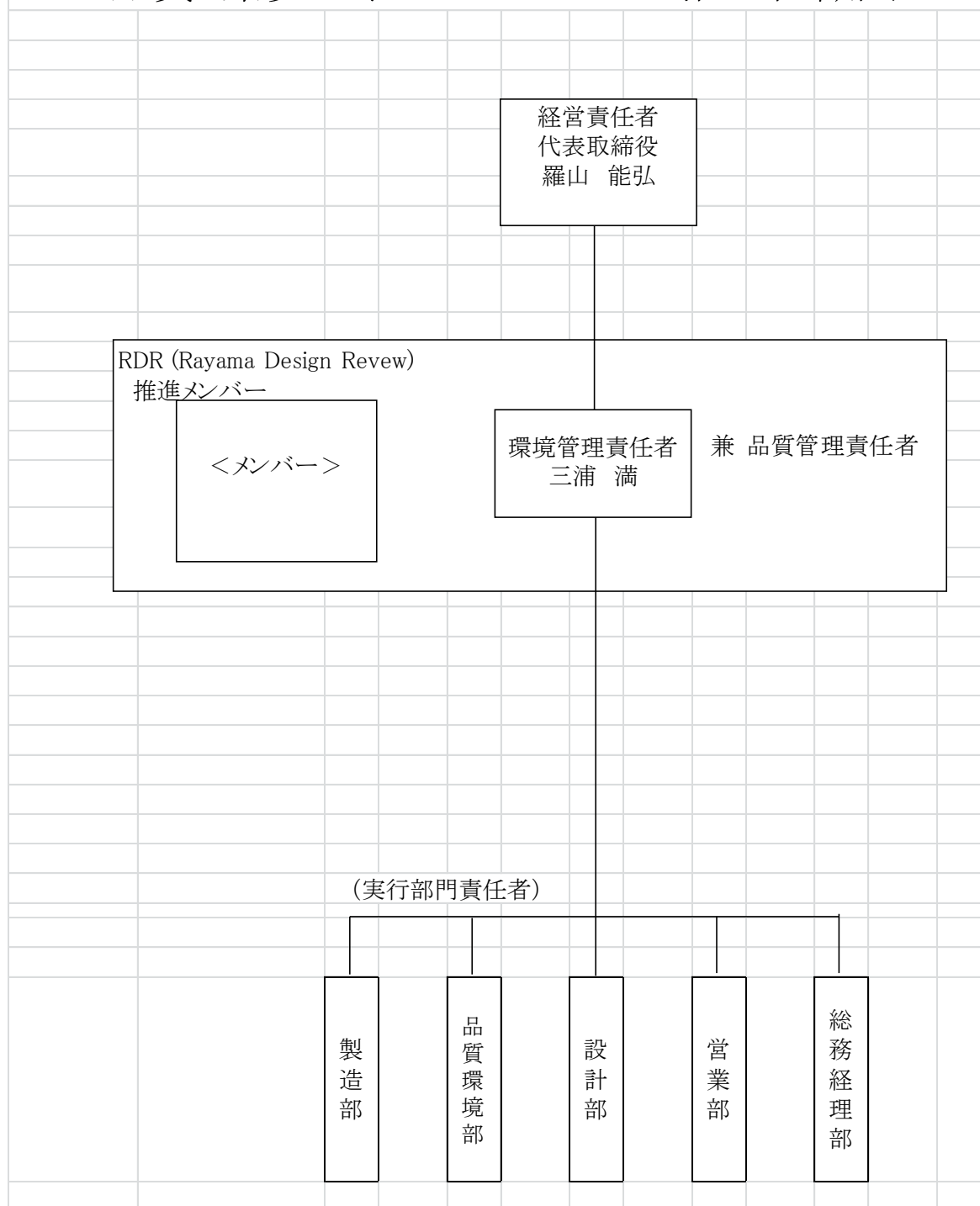
従業員数：28人

事業所敷地面積：200坪、延床面積1,000㎡

車	両：①運搬車両 1tワゴン車	1台
	②作業車両 フォークリフト	2台
	③営業車 普通乗用車	2台
主 要 設 備：	全自動連続真空成形機	6機
	試作製作用真空成形機	1機
	ブリスターシーラー（圧着機）	2機
	全自動スライドマシン（折曲機）	5機
	自動スライドマシン（折曲機）	2機
	トリミング機（内2機 熱版シーラー付）	5機
	油圧プレストリミング機	2機
	設計用3DCADシステム	1台
	設計用2DCADシステム	1台
	マシンニングセンター	1台

組織体制： 次項

品質・環境マネジメントシステム推進組織図



2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象範囲 「1. 2 事業所の所在地」に記載
- 2) 活動範囲 「1. 4 事業活動概要」に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日 「表紙」に記載

3. 環境経営方針

【経営理念】

株式会社ラヤマパックはプラスチック製品を取り扱うメーカーとして、環境汚染、資源枯渇、地球温暖化 生物多様性等の地球環境問題と、低炭素社会及び持続可能な社会の形成を経営の重要課題の一つとして捉え、規制化学物質の製品含有防止、省資源、省エネルギー商品の提供などにより、環境負荷低減に積極的に取り組み、地球環境保全に貢献します。

【行動指針】

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、環境汚染の防止を推進するとともに環境管理システムの継続的向上を図ります。
2. 環境関連の法律、規制および受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。
3. 製品の研究・開発・製造・販売等において、環境負荷物質の削減、省エネルギー、省資源リサイクルなど環境汚染防止を考慮し、環境の維持、向上に努めます。
4. この方針は文書化し、全従業員に周知徹底します。

改定日：2023年 10月1日
株式会社 ラヤマパック
代表取締役 羅山能弘

4. 環境経営目標

No	環境経営方針項目		基準値	CO2 換算係 数	年 度 目 標								
			(2022年度)		2023 年度			2024 年度			2025 年度		
1	二酸化炭素 排出量の削減	電力使用 量の削減	電力使用量		基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減
			472.038	0.537	462.597			462.597			462.597		
			kWh／年	(北電)	kWh／年以下			kWh／年以下			kWh／年以下		
		化石燃料 消費量の削減	油種別消費量		基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減
			灯油 <L／年>	2.49	470			470			470		
			480		L／年以下			L／年以下			L／年以下		
			LPG <m3／年>	3.00	5.1			5.1			5.1		
			5.2		m3／年以下			m3／年以下			m3／年以下		
			ガソリン <L／年>	2.32	4,696			4,696			4,696		
			4,792		L／年以下			L／年以下			L／年以下		
		計 (kg-CO ₂)	316,303		304,334			304,334			304,334		
			kg-CO ₂ ／年		kg-CO ₂ ／年以下			kg-CO ₂ ／年以下			kg-CO ₂ ／年以下		
2	廃棄物 排出量の削減	紙使用量 の削減	紙使用量		基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減
			181.30		177.67			177.67			177.67		
			kg／年		kg／年以下			kg／年以下			kg／年以下		
		廃プラ 排出量 の削減	廃プラ再資源化率		基準値に対し		維持	基準値に対し		維持	基準値に対し		維持
			100		100			100			100		
			%		%			%			%		
3	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	2	%削減	
		837		820.3			820.3			820.3			
		m ³ ／年		m ³ ／年以下			m ³ ／年以下			m ³ ／年以下			
4	グリーン購入の推進												
				再生PETの購入			再生PETの購入			再生PETの購入			
5	環境配慮製品・ サービスの提供												
				省資源、省ス ペースを配慮し た設計			省資源、省ス ペースを配慮し た設計			省資源、省ス ペースを配慮し た設計			
6	化学物質の管理	RoHS		(確認)			(確認)			(確認)			
		REACH											
※電力の二酸化炭素排係数は北海道電力㈱の2022年実績の0.537kg-CO2/kWhを適用													
※年度表記は10月～9月の会計年度と同一期間を適用し、終了年度を表記した。													

5. 環境経営計画

環境経営目標項目		取組項目	取組内容	担当
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	①空調の適正管理	・暖房温度は22℃で設定 ・冷房温度は28℃で設定	全員
		②照明の適正管理	・不在場所や休憩時の消灯	全員
		③機械等の適正管理	・機械停止時の主電源の停止 ・機械の効率運転	製造部
	化石燃料の使用量削減	①ウォームビズの励行（灯油）	・気温に合わせて作業服を調整する	全員
		②夏場の使用停止（LPG）	・給湯器の温水機能の夏場停止	全員
		③エコドライブの励行（ガソリン）	・アイドリングストップの遵守 ・急発進・急停止の抑制	営業部
		④定期的車両点検整備（ガソリン）	・定期点検日の設定と実施 ・自動車タイヤ空気圧の適正化	営業部
廃棄物排出量削減	紙使用量削減	①コピー用紙の両面使用	・両面コピー機能の活用 ・社内用資料は裏紙使用 ・必要資料のみの印刷の徹底	全員
		②廃棄紙排出量の削減	・資料印刷時の事前確認 ・資料の電子化によるペーパーレス化	全員
	廃プラ排出量削減	①廃プラの分別徹底	・廃棄プラスチックの異物混入防止 ・廃プラ分別・確認による保証	製造部
		②廃プラ全量再資源化	・再資源化業者への全量引き渡し	製造部
水使用量削減		①常に節水に心掛ける	・水道蛇口の漏水防止 ・トイレ使用時の適正使用	全員
		②無駄な水は使用しない	・不要な水使用の撲滅 ・漏水の定期点検	全員
グリーン購入の推進		①再生プラスチックの購入	・再生品使用による品質確認 ・原料購入時の適正量の再生品	総務部
		②環境配慮電子・電気製品の購入	・省エネ型OA機器の購入 LED照明、コピー機、省エネ蛍光管	総務部
環境配慮製品・サービスの提供		②端材削減再選技術の確立	・廃プラ削減の製品設計 ・製造ロスによる廃プラ撲滅	設計部
		②地球にやさしい環境プロダクトの確立	分解性プラスチックを使用した商品開発	設計部
化学物質の管理		環境管理物質を入れない、出さない	RoHS, REACH調査（chemSHERPAの活用）	品質環境部

6. 環境経営目標の実績

No	環境方針項目		基準値	活動期間（2023年度：2022年10月～2023年9月）				
			(2022年度実績)	目標			実績	達成度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量	基準値に対し	2	%削減	10.2%	
			472,038	462,597			415,640	○
			kWh／年	kWh／年以下			kWh／年	89.8%
		化石燃料消費量の削減	灯油使用量	基準値に対し	2	%削減	-16.5%	
			480	470			548	×
			L／年	L／年以下			L／年	116.5%
			L P ガス使用量	基準値に対し	2	%削減	9.8%	
			5.2	5.1			4.6	○
			m ³ ／年	m ³ ／年以下			m ³ ／年	90.2%
			ガソリン使用量	基準値に対し	2	%削減	-55.6%	
			4,792	4,696			7,306	×
			L／年	L／年以下			L／年	155.6%
		計（kg-CO ₂ ）	C O ₂ 排出量	基準値に対し	2	%削減	22.1%	
			316,303	309,982			241,542	○
			kg-CO ₂ ／年	kg-CO ₂ ／年以下			kg-CO ₂ ／年	77.92%
2	廃棄物排出量の削減	紙使用量の削減	紙使用量	基準値に対し	2	%削減	4.3%	
			181.3	177.7			170.0	○
			kg／年	kg／年以下			kg／年	95.7%
		廃プラ排出量の削減	廃プラ再資源化率	基準値に対し		維持	0.0%	
			100	100			100	○
		%	%			%	100%	
3	水使用量の削減	水道使用量	基準値に対し	2	%削減	9.9%		
			837	835.9			753.0	○
			m ³ ／年	m ³ ／年以下			m ³ ／年	90.1%
4	グリーン購入の推進	(取組のみ)	・再生プラスチックの購入 ・環境配慮電子・電気製品の購入			再生PET購入100%	○	
5	環境配慮設計の促進	(取組のみ)	省資源、省スペース、に配慮した設計			RDR会議等を通して設計をした。	○	
6	化学物質の管理	(取組のみ)	環境管理物質を入れない			混入ナシ	○	

注）電力の二酸化炭素排出係数は北海道電力㈱の2022年実績の0.537kg-CO₂/kWhを適用

※達成度は目標値との比較

7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標項目		今年度の取組内容	取組結果とその評価	評価結果	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	空調の適正管理	具現化工場を含んだ目標値はクリア致しました。照明や機械等の効率管理、従業員全員の努力により省電力に努めている。	○	すべての取組みを継続し、目標達成を維持継続する。
		照明の適正管理			
		機械等の適正管理			
	化石燃料使用量の削減	ウォームビズの励行（灯油）	ガソリン使用量は目標達成できておらず。コロナ明けによる外出等の増加による。	×	Net会議等による外出を極力減らしガソリン使用量の削減を図る。
		夏場の使用停止（LPG）			
		エコドライブの励行（ガソリン）			
		定期的車両点検整備（ガソリン）			
	廃棄物排出量削減	紙使用量削減	コピー用紙の両面使用	紙使用量はペーパーレス化を推進。コピーは縮小、分割、両面コピー、裏紙使用とし削減継続している。	○
廃棄紙排出量の削減（紙のペーパーレス化）					
廃プラ排出量削減		廃プラの分別徹底	廃棄プラスチック材料はすべてリサイクル業者に回収。	○	現状の取組みを継続、リサイクル率100%
		廃プラ全量再資源化			
水使用量削減	常に節水に心掛ける	基準値より水使用量は減少しています。節水活動は全従業員が心がけています。	○	現状の取組みを引き続けるとともに、より一層の節水を心掛ける。	
	無駄な水は使用しない				
グリーン購入の推進	再生プラスチックの購入	再生プラスチックと森林用紙の購入は定着。目標を達成している。環境配慮電子・電気製品の購入は省電力型を選定の基準としています。	○	すべての取組みを継続し、次なる目標達成を目指します。	
	環境配慮電子・電気製品の購入				
	森林認証用紙の購入				
環境配慮製品・サービスの提供	分解性プラスチックを使用した商品開発	バイオマスペット材料試作	○	量産での使用を目指す	
化学物質の管理	環境管理物質を入れない	環境管理物質を入れておりません。RoHS, REACH	○	環境管理物質を入れない維持継続する。	

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように2023年9月に遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。なお、外部からの苦情は活動期間中にはありませんでした。

環境関連法規等遵守状況

法令名称	主な実施項目	遵守確認者	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物の排出	三浦 満	○
東京都環境確保条例（水質）	規制地域内での規制基準遵守	三浦 満	○
東京都環境確保条例（悪臭）	規制地域内での規制基準遵守	三浦 満	○
容器包装リサイクル法	リサイクルの義務	三浦 満	該当ナシ
RoHS, REACH法	禁止物質含有してない事	三浦 満	含有ナシ

9. 代表者による全体評価と見直し指示

社員には事業活動に於ける環境への取り組みは評価致します。目的・目標は概ね達成できました。先に目標を見直し新目標について取り組みを開始、新年度も継続して取り組みを行います。コロナ禍は明けましたが予防対策は継続致します。脱プラスチック化が促進されている状況で仕事量の減にともない、環境に適合した商品開発推進致してください。

- ・環境経営方針
- ・環境経営目標および計画
- ・実施体制

上記項目につきましては変更なしとし次年度に維持継続致と致します。

以上